

# ばら通信

2008.7.7発行

〒010-1638 秋田市新屋表町8-5

☎018-828-7750 Fax018-828-8185

社会福祉法人グリーンローズ 「ことば」の教室  
オリブ園

## NEWS

夏がやってきましたね。



### 夏来る

平成20年度の新学期がついこの間始まったばかりなのに、もう夏がやってきました。世界の状況を見回してみますと、あまりに大変なことばかりで、世界の為政者たちは何をしているのだろうと不思議な感じになってしまいます。意識的に無策を装っているのかもしれませんが。

制度の変わり目とはいえ、保護者の方々には大変な煩雑さをおかけしております。夏の暑さを元気に過ごす中で、様々ないやなことを吹き飛ばしていきたいものです。

オリブ園施設長 後藤 進

### 本の紹介

「21番目のやさしさに」～ダウン症のわたしから～ 岩元綾 かもかわ出版 2008.5

最近この本を読みました。岩元綾さんはダウン症をもちながら大学を卒業したことで世界から注目を集めています。岩元綾さんの2冊目の本です。以下に本の抜粋を載せました。どうぞ一読を。

「21番目のやさしさに」

「21番目のやさしさ」ってなんだろうと思われる方がありません。

私たちダウン症のほとんどは、通常人間の23対ある染色体の中で、21番目の染色体が一本多く三本あります。そのため<21トリソミー>とも呼ばれています。

多くの人が、この一本多い染色体が悪さをして発達の遅れや心臓病などいろいろな障害が起こるのだといひます。しかし、母は私たちの21番目の一本多い染色体にはやさしさと可能性がいっぱい詰まっている、と云うのです。私はその言葉にとても救われました。母はこの言葉のように、私に純粹で心やさしい一人の女性になって

「綾さん、ちくらないでね」

ある日、私は教室で男子生徒の一人が花札のようなカードを持っていて、数人で遊んでいるのを見てしまいました。私はそれを黙って見ていたのですが、先生が来られて「男子がカードを持ってきているんだろ？」と私に言われるのです。私はどうしよう、と思いついてうなずいてしまいました。当時、花札のようなカードを学校に持ち込むことは禁止されていたので、先生はそれを持ち込ませないように気をつけておられたのだと思います。

先生はつねづね、「綾は正直だから綾に聞けば何でも分かる」とクラスみんなに言っておられたようです。次の日、先生にこのことがばれてしまうといけないと考えた男子生徒たちは私に「綾さん、僕たちのことをちくらないでね」とやさしく言ってきたのです。「ちくる」とは「告げ口をする」という意味で、悪いことをしたりすると先生や親に言いつける時に使われるのだと私も知っていました。この言葉がこの頃に流行り、私たちのクラスの間でもよく使われていました。中学に入ってから男子生徒たちは、私にとてもやさしくしてくれていました。私に何か困ったことが起きると、何も言わずに黙ってそっと助けてくれました。「綾さんは、僕たちの知らないことをよく知っているよ」と家に帰ってよく言うのだと母がクラスのお母さんたちから聞いてきていました。時には私の家に遊びに来てくれたりもしました。

カードで熱心に楽しそうに遊んでいるクラスメートたちの姿を見ていると、ちくるとかわいそうだと思い、頑張らなくて言わずにそっとしておこうと思いました。ところが先生はまたも私のところに来られて、同じことを聞かれるのです。私は男子生徒たちから言われたとおり、口を貝にしながら黙っていました。そんな私の気持ちを思いながら先生は様子を伺っておられたのだと思います。

何も言わずに大木先生はそのまま行ってしまわれました。これ以上聞いても私は黙っていると思われたのか、私を責めるのはかわいそうだと思われたのか。

その後どうなったか私には分かりませんが、それには触れなくておくことにしようと思います。あの頃の男子のクラスメートたちや先生のやさしさだけを思い出します。

この本には宝物がいっぱいつまっています。 後藤

裏面へ



これまでと同様、子どもさんとご家族の立場にたった支援を続けていきたいと思っておりますので、  
よろしくご依頼致します。

E-mail olive@kodomo-sekai.com

ホームページ http://www.kodomo-sekai.com

何かありましたら誰にでも連絡・相談